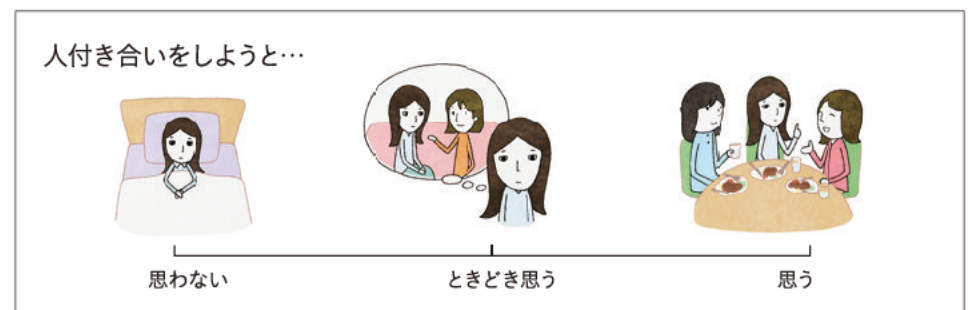
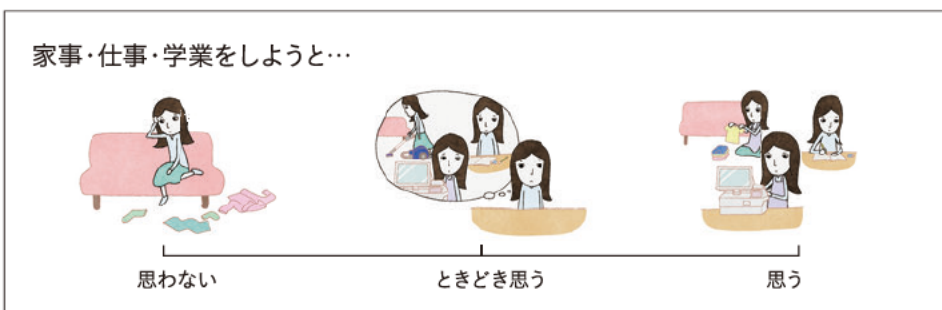
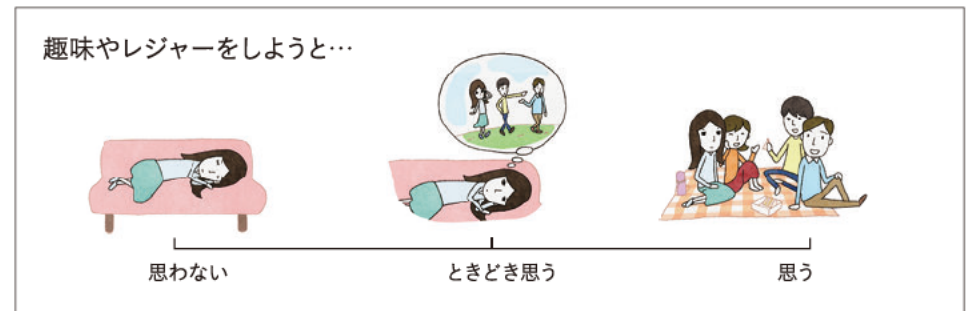
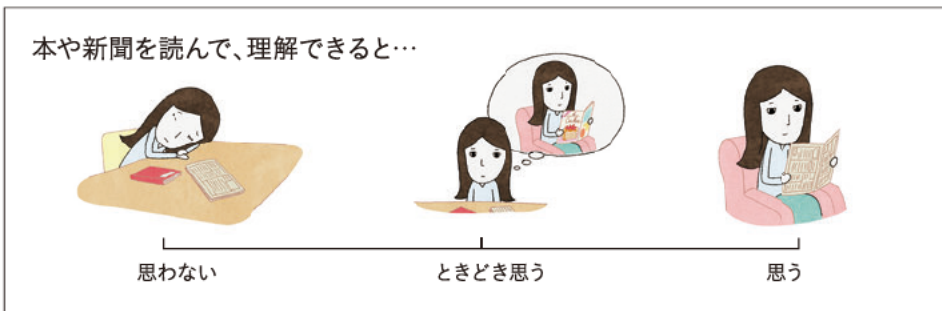
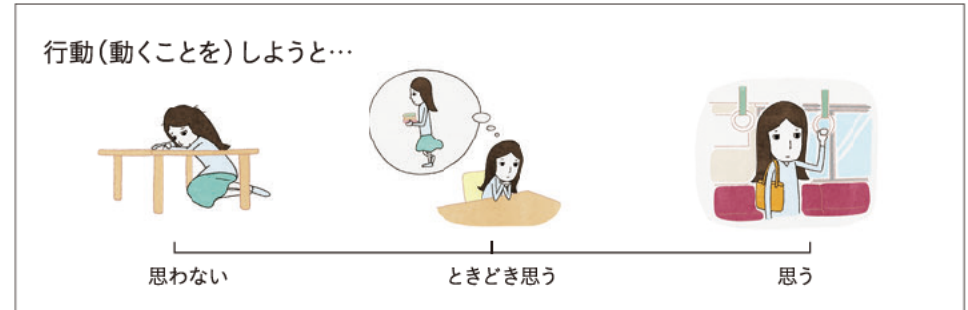
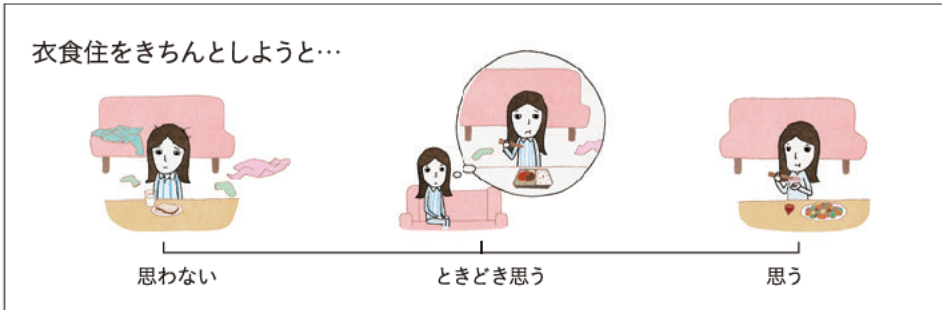


まずはご自身の状態についてチェックしてみましょう。

ご自身のペースでゆっくりチェックして、受診の時に医師に見てもらいましょう。

うつ病の症状が強く出ているときは、「お風呂に入れない」「身だしなみを整えられない」「外にも出られない」など日常生活に支障がでてしまうこともあります。あなたの状態のすべてを医師に伝えるためにまずはあなたの状態を確認してみましょう。



このイラストは、うつ病患者さんの主な困りごとについて描かれたもので、患者さんの実際の声を参考にしながら、患者さんとともに作られました。

(監修) 藤田保健衛生大学医学部精神神経科学講座 教授 岩田 伸生 先生 (協力) 認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構 (コンボ)
 医療法人社団新光会不知火病院 院長 徳永 雄一郎 先生
 吉林大学医学部精神神経科学教室 教授 渡邊 衛一郎 先生 (お名前は五十音順です。)

(参考資料) WHO原著、田崎美弥子、山口哲生、中根允文 訳:健康および障害の評価 WHO障害評価面接基準マニュアルWHODAS 2.0, 2015, pp.49-56, 日本レジリエンス医学研究所/高橋三郎ほか 訳:DSM-IV-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル 新訂版, 2004, pp.781-782, 医学書院, 東京/吉田卓史ほか:臨床精神薬理, 2004, 7(10), 1645/後藤牧子ほか:精神医学, 2005, 47(5), 483

上記イラストは、患者さんがうつ病の症状や社会機能(日常生活)の支障に対して持たれているイメージや状態を絵や言葉にすることで、患者さんと医療従事者の間のコミュニケーションをサポートすることを目的としています。うつ病の診断を目的としたものではありません。